

## 食卓が 勉強机



吉村 幸代

「学校では男女は平等だと教えられるのに、家へ帰ると母が我慢を強いられることだらけの男女不平等。学校と家庭のあまりの落差に、戸惑いながら育ちました」。四十代女性の発言に、多くがうなずいた。「平塚らいてうの家」の視察研修を終えて上田市から松本市へ帰るバスの中、意見交換した際のことである。

私は、地区人権啓発推進協議会の副会長を務めている。昨春、同和教育のオーソリティー

である前会長が退かれた。さ  
て、引き継いだ我々には何がで  
きるやら。新会長が提案した。  
「身近な人権問題を取り上げよ  
う。家庭や職場や町会で、誰も  
が問題意識を持つようなこと  
を」。男女共同参画問題を重点  
テーマに決めた。

「男にスカートをはけと言っ  
のか」。こんな考え方を推進

題点を「家庭の中」と「家庭の外」とに分け、更には「外」を  
社会全体、学校、職場、町会組  
織などに分類して考えてみる。  
そして、「外」で最も気になっ  
ているのは町会だ。  
長野県は、自治会長に占める  
女性割合が二〇一〇年までに三  
〇%を上回ることを目標として  
いるが、本年度は〇・八%にと

りお客さま顔の男性も。  
のに働かない・気が利か  
かと思われたら嫌」が女性  
高。そのうち、「女性は  
お畑をつけて」なんて呼ば  
が聞かえてくる。

## 男は度胸、女も度胸

するから、世の中がおかしくな  
ったんじゃないのか。そんな  
ふう言っている人が、今も  
って、どこにも一人や二人はい  
るらしい。男女共同参画社会基  
本法の公布・施行から十年。こ  
の国において、法が目指す理想  
は、どこまで現実となり得たの  
だろうか。

不可解なことは身近にもあり  
す。例えば、役員仕事の実  
働は妻、なのに名簿は夫の名  
（寿台公民館長、主婦）

女性の高齢化が急速に進  
女性の参画と活躍が、地  
性化や存続の鍵であること  
ではない。個性と能力が  
発揮できる新しい社会を  
ため、男性には理解と協  
性には自覚と努力が求めら  
れるといえよう。

男は度胸、女も度胸。

いを巡らせる時、いつも私は問  
前。理由を尋ねると、たった一市